

令和6年度都立武蔵丘高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	思考力・想像力の伸長 言語感覚を磨く	・ICT機器を有効活用し、主体的・対話的で深い学びを実現する学習活動を推進する ・全学年で、週1回の小テスト（漢字・古文単語・語彙）を実施する	・大学入試に対応できる読解力と言語力の養成を図る ・作文や小論文を書く機会を積極的に設け、「書く」力の養成を図る
数学	自主的な学習活動の推奨 考えた過程を大切にする指導	・提出課題を生徒自身が理解し活用できるまで、粘り強く取り組むよう指導する ・進捗の確認やつまづきの多かった項目の取り組み状況や指導法の工夫を積極的に科内で共有する	・指定された課題以外の問題に対しても自主的に取り組ませる ・数値や式の羅列ではなく、解決の過程を論理的かつ簡潔に表現する指導を実施する
英語	「話すこと」「書くこと」の指導の充実	・JETやALTを活用した授業を英語コミュニケーションⅠ、Ⅱで週1時間取り入れる。 ・英語コミュニケーションⅠ・Ⅱでは、「話すこと」と「書くこと」のパフォーマンステストを年3回ずつ実施する。	・一年生はオンライン英会話に取り組み、学校外でも話す活動に取り組む。 ・実用英語技能検定試験のWritingやSpeakingについて、授業内だけでなく、個別指導も行う。
社会	知識の理解に努めた授業の継続と、思考力・判断力・表現力を育成する授業の充実	・大学入学共通テストに対応できる知識の理解と、思考力・判断力・表現力を育成する指導を継続的に実施。	・生徒が主体的に学習に取り組む教材の開発や、協働学習による探究活動の実践。
理科	科学的な思考力、論理的なものの見方・考え方を育成する	・基本的な科学的概念・原理・法則の理解を徹底する。また、それを踏まえた考察・推論へつなげるため、実験・実習・観察を計画的に実施し、レポート作成指導を通して自学自習の習慣化に取り組むとともに、表現力の向上に努める。	・博物館や科学館、動物園などに出向き、自ら探究し、具体的課程を自らの手でまとめる学習を行う。 ・「探究の過程」を踏まえ科学的現象について生徒自らに考えさせる学習・講義を行う。